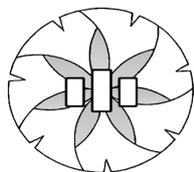


七小つうしん

学校通信 第5号
令和3年8月27日
東久留米市立第七小学校
校長 伊藤 幸一
TEL 042(471)0114

*学校ホームページ <http://www.higashikurume-school01.jp/~dai7-e/>



『教育目標』

- ◇ かしこく
- ◇ やさしく
- ◇ たくましく

緊急事態宣言下での2学期スタート

校長 伊藤 幸一

2名の転入生を迎え597名での2学期のスタートとなりました。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、緊急事態宣言下で始業式を迎えることとなりました。先日メールにてお知らせいたしましたが、始業式も放送で行うことし、本日予定していました引き渡し訓練も延期させていただきました。1学期に実施した運動会は無観客で行わざるを得なかったことから、9月18日の学校公開日には各学年の表現発表、道徳授業地区公開講座として全学級の道徳授業とスクールカウンセラーによる講演会を行い保護者・地域の皆様に子供たちの輝く姿を見ていただきたく準備を進めてまいりましたが、これも中止することといたしました。さらには、大変残念なことです。6年生の榛名移動教室及び特別支援学級の宿泊学習は中止となりました。様々な教育活動が今までのように実施できない状況ですが、子供たちの安全・安心を第一に考え、できることを工夫しながら最大限に実施していきます。以前にも巻頭言に書かせていただきましたが、「学校」は子供たちが様々なかわりの中で成長していく場です。オンラインやリモートではできない活動がたくさんあります。日々の授業の中で学校でしかできないことを大切に、諦めず投げ出さず取り組んでいきたいと思えます。

そんな中ですが、8月24日からパラリンピックが始まりました。様々な障がいのあるアスリートたちが創意工夫を凝らして限界に挑むパラリンピックは、多様性を認め、誰もが個性や能力を發揮し活躍できる公正な機会が与えられている場です。すなわち、共生社会を具現化するためのヒントが詰まっている大会です。また社会の中にあるバリアを減らしていくことの必要性や、発想の転換が必要であることも気付かせてくれます。25日に14歳の山田美幸選手が競泳女子100m背泳ぎで今大会日本人初の銀メダルに輝きました。山田選手は先天性の四肢欠損で両腕がなく、両脚の長さが違います。運動機能障害で2番目に重いクラスで戦っています。キック力を鍛えるのはもちろん肩周辺の筋肉を巧みに旋回させる技術を磨き、頭の向きを微妙にずらして体の傾きを修正し、進む方向を調整する能力も身に付け、パラリンピックという大舞台で表彰台に上がることができました。「ない」ものを嘆くのではなく「ある」ものを徹底的に突き詰めてきた結果だと思えます。

アスリートたちの活躍はコロナ禍で教育活動を展開していく私たちに勇気と希望を与えてくれます。「できない」ことを嘆くのではなく、「できる」ことは何かを常に考えていきたいと思えます。2学期も本校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。

☆☆☆子ども祭り ☆☆☆

昨年できなかった子ども祭りですが、今年度は感染症対策として3日間に分け、4～6年は1クラス2つお店を出して密を避けるという形で行いました。各お店で消毒をしたり、ソーシャルディスタンス用の足形を作ったりというアイデアは代表委員会で提案してくれました。ミニオリンピックやレーザーポインター、魚釣りやボーリング、クイズレストランなどそれぞれのクラスで工夫したお店を準備しました。当日はお店を回る子たちも、お店を切り盛りする子たちも、キラキラした笑顔で楽しく過ごせました。終わった後の子どもたちの顔は達成感に満ちていて、貴重な体験になりました。



☆☆☆ 水泳 ☆☆☆

今年度の水泳指導は水に慣れ親しみ、水中で体を動かす感覚を養い、水の事故を防ぐことを目的に指導を行いました。感染症対策のため、密にならないように2クラスずつで実施しました。水泳学習は常に命と背中合わせの学習です。2年ぶりの水泳でしたが、子供たちははやる気持ちを抑え、ボディチェックの仕方や、入水の合図を丁寧に確認して、安全第一を心がけて学習しました。水の中を移動したり、浮いたり、もぐったりすることで水中での体の動き方を実感している様子でした。

授業が終わった後に「楽しかった!」「もっと泳ぎたい!」などの声がたくさん聞こえてきました。少ない時間ではありましたが、2年ぶりの水泳学習に子供たちも嬉しそうな様子でした。健康観察や水泳カードの記入など、ご協力いただきありがとうございました。



9月の生活目標 学校の決まりを守ろう

2学期が始まり、子供たちは元気に登校しています。今年の夏は、家の中で過ごすことの多い休みだった子もいると思います。時間を気にせず、のんびり過ごしてきた子にとっては、朝決まった時間に起きること、みんなに合わせて一緒に行動することに、少し戸惑いを感じるかもしれません。

今月の目標は、学校のきまりを意識した生活を送ることです。

返事やあいさつをしっかりとすること、時間を守ること、廊下は右側を静かに歩くこと、宿題や提出物をしっかりと出すこと・・・など、学校のきまりはたくさんあります。その一つ一つを確認しながら過ごすことが、生活リズムを取り戻すことにつながります。各学級で改めて学校のきまりを確認していきます。ご家庭でもお子さんへの声かけをお願いいたします。

☆☆☆ 算数 ☆☆☆

算数の授業は、1年生が学級に支援員が入る TT 指導、2年生以上が習熟度別に分かれて学習しています。習熟度別では、2年、4～6年は4グループ、3年生は2学級のため、3グループに分かれて学習しています。それぞれのグループを、担任と算数少人数担当教員で指導し、さらに、学習支援員の教員も加わります。学習集団は、単元ごとに「じゅんぴテスト」を行い、児童のこれまでの学習の定着度合いなども考慮しながら、その都度、学習集団の編成を行っています。

習熟度別のグループで学習する利点として、次のようなことがあげられます。

1つは、児童に合わせたきめ細かい指導を行うことができることです。その単元の内容が得意な児童には、発展的な問題を考えさせたり、苦手な児童には、問題を精選してゆっくり考えられるようにしたりしています。

また、学級でなかなか発言できない児童も積極的に発言できるようになったり、発言する機会が増えたりするなど、児童の学習意欲につながる利点もあります。自分に無理のない問題を解くことで、自力解決したり、同じグループの人に教えてあげたりするなど、算数への自信にもつながっています。

1学期は、どの学年も順調に単元を進めることができました。ただ、習熟の時間が足りない部分もあったので、2学期以降も復習を取り入れながら、児童の学力を伸ばしていきたいと思います。

引き続きご家庭でも、学習の支援をよろしくお願いいたします。

算数少人数指導担当 椎谷 正信

☆☆☆ 食育 ☆☆☆

「食育」とは、様々な経験や体験を通して、「食」に関する知識と「食」を選択する力を取得し、生涯にわたって心身ともに健康で豊かな人間性を育むことです。そのためには、子供のころから「食」に関する経験を積んでいくことが大切です。

本校では、校庭や中庭の花壇を活用して、様々な取り組みをしています。2年生は夏野菜の栽培、5年生は田植えをしてお米を育てました。給食時間も活用し、食事のマナーや食べ物の話をして食育をすすめています。

また、食育は家庭でも一緒に取り組んでいただきたい教育です。朝食を食べる習慣をつける、ゆっくりよく噛んで食べる、家族で食卓を囲むことなど、子供と一緒に食事をする中で身に付けていきます。誰かとともに食べることを『共食』と言います。家庭でも『共食』を心がけて食育をすすめていただきたいと思います。



《9月の行事予定》

月	火	水	木	金	土
		1 ◎ 計測(2) あすなろ指導 (始)	2 ◎ 計測(3) 交通安全指導 (終)	3 安全指導 計測(4) 委員会	4
			夏休み作品展		
6 全校朝会 計測(1・し)	7 ☆ SC	8 ◎ 4時間授業	9 草取り集会	10 ◎ クラブ	11
13 全校朝会	14 ☆ SC	15 ◎	16 ◎	17 ◎ クラブ	18 SC 4時間授業
20 敬老の日	21 ◎	22 ◎	23 秋分の日	24 ◎ クラブ	25
27 全校朝会	28 ☆	29 ◎	30 集会 口腔衛生 (3・6・し)		

SC：スクールカウンセラー来校 ◎：朝学習 ☆：朝読書 ()：学年

○引き渡し訓練について

8月27日(金)の引き渡し訓練は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、延期となりました。直前の変更でご迷惑をおかけし、申し訳ございませんでした。今後の日程につきましては、後日改めてご連絡いたします。

○土曜授業について

9月18日は土曜授業(給食なし)となり、8時30分から授業が始まります(土曜時程)。当日は、各学年で1時間、道徳の授業を実施します。なお、感染症対策のため、公開は行いませんのでご了承ください。

○学力調査について(4・5・6年)

9月15日(水)から9月22日(水)の期間に、タブレットを活用して、学力調査を行います。